

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	アウトドアで村おこし事業
事業主体 (連絡先)	生坂村観光協会 (役場振興課 0263-69-3112)
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,680,907円 (うち支援金: 935,000円)

### 事業内容

#### 1. ロゲイニングイベント

○ 生坂村海洋センターをメイン会場にロゲイニングイベントを実施した。開催日: 3月25日(土) 参加者 165名

フィニッシュ後には灰焼きおやきや地元女性団体による手づくりの軽食の振る舞い、特産品の試食・販売会を行なった。

#### 2. 大城・京ヶ倉トレッキングマップの作成

持ち運びがしやすいように、折加工を施したマップを2,000部作成。マップ内には村内食堂や直売所、入浴施設を記載して村内施設の利用を促した。

#### 3. 大城京ヶ倉トレッキングコースの整備

京ヶ倉山頂及び大城安曇野展望に北アルプス展望看板を設置した。

京ヶ倉山頂看板サイズ: 800mm\*600mm

大城安曇野看板サイズ: 600mm\*400mm



【目標・ねらい】

- ①アウトドアを活かした誘客
- ②ロゲイニングイベントの実施
- ③大城・京ヶ倉トレッキングコース等整備

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①平成27年度より元気づくり支援金を活用してラフティング備品の整備を行ない、年々参加者も増えてきている。平成28年度も村営やまなみ荘を拠点としたアウトドアプランの作成、実施をした。ラフティング: 102名、パラグライダー: 3,600名(一部推定)

②ロゲイニングイベントでは徒歩でしか行けない観光名所などにも誘導することができるので、観光PRに効果的であると感じた。また、チェックポイントの対象地域は地元住民が積極的に整備等を行なってくれたことから、環境美化に繋がった。また、会場内で行った特産品の試食・販売会により、大勢の方に特産品のPRをすることができた。イベント後には参加者がブログやSNSで写真を拡散してくれたので、知名度向上に繋がったと感じる。

ロゲイニング参加者数: 165名(内2名は当日キャンセル)

③ポケットに入るサイズのトレッキングマップの作成を行ない、登山者の満足度向上に繋げることができた。また、マップの中には、食堂や直売所、入浴施設を記載することで利用を促すことが出来たと感じた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

アウトドアというカテゴリーが、誘客につながる観光資源として確認することができた。イベントを増やすことで誘客につながるが、イベントに頼らない方法で呼び込むための観光地づくり、他地域にはない魅力の創出、体制づくり、宣伝をしていく必要がある。今後、日本初の車いすパラグライダー体験を実施して、他地域にない魅力を創り出し、観光誘致に努めていきたい。

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

ロゲイニングイベント実施やトレッキングコースの整備では多くの地元住民の協力を得ながら実施することができた。またイベント後には参加者がブログやSNSで写真などを拡散してくれたことにより地域PRが出来たと感じる。

今後もより大勢の住民参画を促し、観光イベントを通じて活気あふれる地域づくりに繋げていきたい。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある